

教育振興運動30年 新たな発展を誓う

6月22日、教育振興運動30周年記念大会が盛岡市の県民会館で約2,000人が参加して行われた。

この運動は、昭和40年に県教育委員会の提唱で教育水準や物心両面にわたる生活水準の向上を目指して展開されてきたもので、現在は生涯学習の推進を柱の一つに据えている。

大会では、盛岡市教育振興推進委員会など12の優良推進団体の表彰のほか、運動の創設に携わった工藤知事の特別講話や漫画家矢口高雄氏の記念講演などが行われた。



▲「教育振興運動の始まり」と題して講演する工藤知事



▲フォーラムでは活発な論議が交わされた

冷戦後の国際関係 在日外交官ら論議

6月24日、滝沢村のアピオ(岩手産業文化センター)国際会議場でワールド・パートナーシップ・フォーラムが開かれた。北海道・東北で初めて行われたこのフォーラムでは、14カ国の外交官らが冷戦後の国際関係をテーマに活発な論議を交わした。

工藤知事は歓迎スピーチで「地球の上に永久の平和の来ことを信じ、どの地域に住む人びとも物心ともに豊かな生活ができるような環境を確立するために、協力、努力し合おうとの決意を新たにしたい」と述べた。

スポーツを通じ交流 県障害者体育大会

6月4日、盛岡市の県営運動公園などを会場に、第32回県身体障害者体育大会が開催された。

開会式では、県内各地から参加した約700人の選手団が、盛岡三高ブラスバンド部の演奏に合わせて力強く入場し、詰めかけた応援団から盛んな拍手を浴びていた。

大会では、陸上競技やアーチェリー、水泳など6種目で熱戦が繰り広げられた。また、大勢のボランティアも参加し、スポーツを通じたふれあいの1日となった。



▲各会場では、終日熱戦が繰り広げられた

人と水との調和を 水環境フォーラム

6月9日、私たちの日常生活に深く関わる水環境の大切さについて考える水環境フォーラム'94が環境庁水質保全局と岩手県の主催により、盛岡市の県民会館で開かれた。

フォーラムでは、水環境の保全に功績のあった個人と団体に対して水環境賞の表彰が行われたほか、タレントの九十九一さんが記念講演を行った。また、全国各地で水質保全活動に取り組む団体などによる事例発表やパネルディスカッションも行われた。



▲「かわいい水には旅をさせろ」と題して講演を行う九十九一さん



▲ファミリンピック成功に向け開かれた第1回常任委員会

常任委で計画承認 ファミリンピック

6月13日、全国ファミリンピックいわて大会実行委員会の第1回常任委員会が盛岡市で行われた。委員会では20人の委員が出席し、大会の開催要領や実施計画案が承認された。

同大会は今年が国際家族年であることを記念し、「見つめよう・感じよう・いま家族を」をスローガンに、家族のふれあいときずなを深め、これからの家族の在り方を考えようと思われるもの。10月8日から10日まで盛岡市を中心に、スポーツ交流イベントなどが行われる。

花巻空港30周年 記念事業決まる!

6月22日、県庁で花巻空港開港30周年記念事業実行委員会設立総会が開かれ、記念事業の内容など3つの議案が承認された。

承認された記念事業は、大型ジェット機就航を目指す花巻空港を身近な空港として親しんでもらおうというもの。9月22日、23日の2日間で、記念講演やシンポジウムなどのほか、航空機の体験フライトや空港施設の見学ができるスカイフェスタ'94が行われる。



▲県庁で行われた設立総会